

みやこはし 京の橋しるべ

第2号

(平成25年8月発行)

さまざまな「橋」

京都市では、現在、約2,800の橋を管理していますが、その橋の材質や形はさまざまです。今回は京都市内にある橋をいくつか紹介しながら、橋の種類について説明していきます。

橋の種類 (使用材料による分類)

橋は、通路面を形成する上部構造と、上部構造を支持する土台となる下部構造に分けられます。そして、その上部構造を構成する主な使用材料によって、鋼橋、コンクリート橋、石橋、木橋などに分けられます。

木の橋や石の橋は、古くから人々の知恵によって工夫して造られ、利用されてきました。鉄を利用した鋼橋やコンクリートを利用したコンクリート橋は、日本では明治時代になってから造られるようになりました。

鋼橋：主要な構成材料が鋼材であるもの。

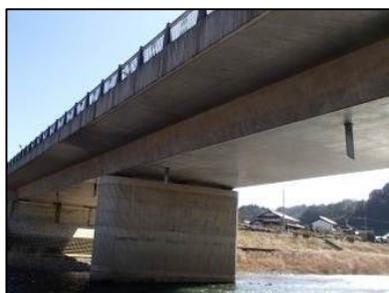


賀茂大橋：
昭和6年に架けられた鋼橋



賀茂大橋の桁下の様子
I型の鋼桁が橋を支えている。

コンクリート橋：主要な構成材料がコンクリートであるもの。鉄筋コンクリート(RC)で造られたRC橋と、鉄筋コンクリートに鋼材であらかじめ圧縮力をかけたプレストレスト・コンクリート(PC)によるPC橋がある。京都市が管理する橋りょうの約8割はコンクリート橋である。



京北橋(コンクリート橋)の桁下の様子
桁が床版(通路面を支える構造)の役割も果たすPC橋

石橋：主要な構成材料が石のもの。

木橋：主要な構成材料が木材のもの。



白川に架かる古川町橋(行者橋・一本橋)は、簡素で風情のある石橋

橋の種類 (構造形式による分類)

いろいろな構造形式

橋にはいろいろな形のものがあ、このような形の種類を「構造形式」といいます。

橋を架ける場所やその径間(上部構造を支える下部構造間の距離)によって、適する構造形式は異なります。

桁 橋：最も基本的な形式。上部構造である梁(桁)を下部構造に架けた橋

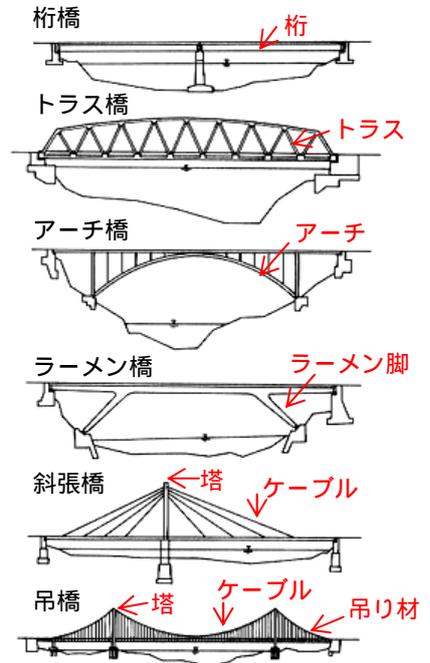
トラス橋：部材を組合せた三角形の骨組みで構成された梁で支えられる橋

アーチ橋：曲がりをつけた梁(アーチ)によって支えられる橋

ラーメン橋：下部構造と上部構造を剛結して一体化している橋

斜張橋：塔を立て、この塔から斜めに直線状に張り出した複数のケーブルによって通路面を支える橋

吊 橋：塔に鋼製のケーブルを張り、ケーブルから垂らされた吊り材で通路面を支える構造の橋。ケーブルを地盤や橋台に固定している。



橋の形式の概略図*(1)

めずらしい形の京の橋



<七条大橋：コンクリートアーチ橋>

七条通の鴨川に架かる大正2年に架けられたモダンな橋。柴田睦作により設計され、そのデザイン様式は「セセッション式欧風意匠」とされている。^{*(2)}



<九条跨線橋：鋼アーチ橋>

九条通にある九条跨線橋の鴨川渡河部は雄大な印象のアーチ橋。通路面が橋桁の上部にある上路式アーチ橋である。



<鶴飼橋：吊橋>

トロッコ保津峡駅前にあり、京都市が管理する橋では、2橋しかない吊橋の一つ。人道橋として使用されている。



<保津峡橋：フィーレンデル橋>

JR保津峡駅前にある、日本では珍しいフィーレンデル形式の橋。一見トラス橋のようであるが、各部材が剛結され、ラーメン橋に分類される。

京の橋の紹介

堀川第一橋（ほりかわだいいちきょう）

場所：上京区役人町，東橋詰町
道路名：一般市道中立売通
河川名：準用河川堀川
橋の種類：石橋
橋長：14m
幅員：8.2m
完成年月：明治6年



重厚な石造りのアーチ橋である堀川第一橋は，本市が管理する橋の中でも最も古い歴史を有する橋の一つです。中立売通の堀川に架かる橋であることから，かつては中立売橋と呼ばれていました。

古くは桃山時代に，秀吉が建設した聚楽第と御所を結ぶ重要な橋として「洛中洛外地図屏風」に大きく描かれ，江戸時代には，二条城と御所を結ぶ公儀橋（幕府が直轄管理する橋）として重視されました。明治時代になってからは京都府に引き継がれましたが，その重要性は変わることなく，明治6年に今の石橋に架け替えられた際には，堀川に架かる橋で第一番目に永久橋に架け替えられた橋として「堀川第一橋」と名称が改められました。高欄の親柱には，その名が大きく刻まれています。



本橋のアーチは，通常は半円形であるところが円形となっており，全国的にも非常に珍しい構造となっています。

また，本橋の石材には，大仏蓮台の石垣の石が用いられたとされています。当時は廃仏毀釈の嵐の中にあり，貴重な文化財も破壊を免れ得なかったのです。^{*(2)}

本橋は，京都の時代を映す貴重な土木遺産として，平成24年度に土木学会選奨土木遺産に認定されました。

みなさまもお近くにお越しの際には，お立ち寄りいただき，本橋を通ったであろう数々の歴史上の著名な人物に，思いを巡らせてみてはいかがでしょうか？

おわりに

私たち建設局調整管理課橋りょう担当では，市民の皆様の安心・安全な生活を守るため，京都市が管理する「橋」の耐震補強と老朽化修繕を進めています。

その取組を市民の皆様にもっと知っていただくため，また，私たちの日常生活を支えるかけがえのない「橋」について関心を持ってもらい，身近なものとして親しんでいただくため「京の橋しるべ（みやこのはししるべ）」というリーフレットを定期的に発行し，市民の皆様には「橋」にかかわる様々な情報を発信しています。

「道しるべ」は，道路に目的地までの距離や方向を示し，道案内のために設置されたものですが，「橋しるべ」は私たちの「橋」に関する取組などをわかりやすくお伝えして（案内して）いきたいということで名づけました。

発行・お問い合わせ 京都市建設局調整管理課橋りょう担当（電話 075-222-3568）

